平成27年度

教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価に関する報告書

(平成26年度事業対象)

平成27年9月 えびの市教育委員会

1 自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成20年4月から、教育委員会の権限に属する事務についての自己点検・評価制度が導入されました。

教育委員会が、地域の教育課題に応じた基本的な教育の方針・計画を策定し、これに即して実施した政策について政策効果をしっかりと把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

このような観点から、えびの市教育委員会では、平成 19 年度事業分から毎年度、法の趣旨にのっとり具体的な内容の点検・評価を行っています。

2 具体的な点検・評価の方法

次の3つの項目に分類し、シートは、教育委員会の活動及び会議内容について重要度と実現度を組み合わせた表を活用しました。

- ・シート1・・・教育委員会の活動
 - (教育委員会の活動及び運営状況等)
- ・シート2・・・教育委員会が管理・執行する事務

(えびの市教育長に対する事務委任規則により教育長に委任されていない事務)

・シート3・・・教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

(「平成26年度えびの市教育基本方針教育施策」に定めた重点的な施策)

3 重要度の考え方

教育委員会が管理・執行する事務については、えびの市教育長に対する事務委任規則に列記されている 教育長に委任されていない事務であるため、重要度は、すべて「高」としています。

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務については、「平成 26 年度えびの市教育基本方針教育 施策」に定めた重点的な施策を抽出しているため、重要度は、すべて「高」としています。

4 実現度の考え方

過去の評価等と比較しながら、目標に対して概ね実施できたものは「高」、ほとんどできなかったものは 「低」、それ以外を「中」としました。

なお、対象年度に事例がなかったものは記載しませんでした。

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート1 (平成26年度事業)

大項目	中項目	小項目	J.	5検・評価
	(1)教育委員会の会議の運 営改善	①教育委員会会議の開 催回数	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○平成26年度は、15回開催した。(平成25年度は16回) ○毎月の定例会と必要に応じて開催する臨時会で適切に 運営できた。
		②教育委員会会議の運 営上の工夫	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○行事等と教育委員会会議を 同日開催したり、会議資料 を事前配布したりするな ど、効率的な会議運営に配 慮した。
	(2)教育委員会の会議の公 開、保護者や地域住民 への情報発信	①教育委員会会議の傍 聴者の状況	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○会議開催を事前に公表して いるが、平成26年度は傍聴 者がなかった。
		②議事録の公開、広報・ 公聴活動の状況	実 現 皮 ↑ → 重 要 度	○えびの市情報公開条例の規 定に基づいて対応している が、教育委員会会議につい て、平成26年度は公開請求 がなかった。
教育委員会	(3)教育委員会と事務局の 連携	○教育委員会と事務局 の連携	実現度↑	○常に連携をとり、市教育行 政の推進に努めた。
(の活動)	(4)教育委員会と首長の連 携	○教育委員会と首長と の意見交換会の実施	実現度↑ 重要度	○必要に応じて協議・連携を 行うとともに、年1回だった 市長との意見交換会を年2 回 (7月、12月) 開催とした。 また、7月18日には教育関係 者交流会を実施した。
	(5)教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○市町村教育委員会研究協議会、宮崎県市町村教育委員研究大会、西諸県市町教育委員研究大会、西諸県市町教育委員会連合協議会研修会等に参加した。
	(6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	実 ○ 現 皮 → 重 要 度	○5月12日、14日に市内全小中学校の学校訪問を行った。 ○7月2日に市内小学校の学校訪問を行った。 ○6学校の行事・発表会や市教委主催の報告会では、随時、各委員が出席した。
		②所管施設訪問	実 現 皮 ↑ → 重 要 度	○5月14日に学校給食センター、文化センター、資料館及び市民図書館を訪問した。 ○体育施設等の各施設については、随時、各委員が訪問した。

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート2 (平成26年度事業)

大項目	の中教育会員会の自己点検 中項目	小項目		点検・評価
	(1)学校教育又は社会教育にこと。	こ関する基本方針を定める	実現度↑ → 重要度	○平成27年度えびの市教育基本方針教育施策を決定した。
	(2)学校、公民館及び図書館 すること。	官の設置、及び廃止を決定	実現度↑ → 重要度	○平成26年度は、なかった。
2	(3)教科内容及びその取扱と。	いの一般方針を定めるこ	実 ○ 現	○各学校の経営方針や教育課 程の承認をした。
教育委員会が	(4) 県費負担教職員の懲戒及 長の任免、その他の進退	なび県費負担教職員たる校 をについて内申すること。	実 現 () ↑ 1 重 要 度	○県教委から求めのあった任 免等について、内申を行い、 適切な人事運営を図った。
云が管理・執行	(5) 県費負担教職員の服務の)監督の一般方針を定める	実現度↑ → 重要度	○職員服務規程(平成18年宮 崎県教育委員会訓令第2号) 及びえびの市立学校管理規 則で規定されている。
1する事務	(6)前2号に定めるもののほ め及び懲戒を行うこと。	まか、人事の一般方針を定	実現度 ○ → 重要度	○県費負担教職員の人事については、県教委への内申を適切に行った。 ○懲戒については、市町村立学校職員の懲戒に関する条例(昭和31年宮崎県条例第39号)及び市町村立学校職員の懲戒に関する規則(昭和31年宮崎県人事委員会規則第9号)を準用する。
	(7) 県費負担教職員以外の材	で長の任免を行うこと。	実現度 → 重要度	○平成26年度は、なかった。
	(8)教育委員会事務局及び参 他の人事に関すること。	女育機関の職員の任免その	実 現 () ↑ () () () () () () () () () () () () ()	○第15回教育委員会会議で、 平成27年4月1日付け人事異 動に関する議案を承認し た。

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート2 (平成26年度事業)

大項目	カータ 中項目	小項目		点検・評価
	(9)学校、公民館、及び図書	館の敷地を選定すること。	実現 ○	○上江小中学校の施設一体型 一貫教育校整備に向けた用 地を選定取得した。
	(10) 1 件 5 0 0 万以上の工	事の計画を算定すること。	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○真幸中学校及び岡元小学校 屋内運動場屋根等改修工事 実施○加久藤中学校プール改修工 事実施○飯野小学校校舎外壁等改修 工事実施○えびの駅トイレ棟・駐輪場 新築工事実施
2 教 育	(11)教育委員会規則・告示』 行うこと。	及び訓令の制定又は改廃を	実現度↑ → 重要度	○規則制定改廃 12件 ○告示制定改廃 17件 ○訓令制定改廃 0件
教育委員会が管理	(12)教育予算その他議会の 案を決定すること。	議決を経るべき議案の原	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○平成26年度予算の各補正、 平成27年度当初予算、条例 の制定改廃、指定管理者指 定等の原案について教育委 員会会議で決定した。
・執行する事務	(13)社会教育委員、奨学生 委員及び図書館協議会		実現度↑ → 重要度	○各種委員の選任について は、事務局提案のとおり承 認した。
務	(14)校長、教員その他の教育 針を定めること。	育関係職員の研修の一般方	実現度↑ → 重要度	○平成27年度えびの市教育基本方針教育施策の中で決定した。
	(15)学齢生徒及び学齢児童 を設定し、又はこれを		実 現 度 ↑ → 重 要 度	○平成26年度は、なかった。
	(16)地方教育行政の組織及 条の規定による点検及		実 現 度 ↑ → 重 要 度	○平成25年度の点検・評価を 行い、議会に報告するとと もに市ホームページで公表 した。

◎えびの市教育委員会の自己点検・評価シート3 (平成26年度事業)

	でである。 「項目 中項目 小項目 小項目		点検・評価						
3 教	生涯学習	生涯学習推	r 推進体制の確立と学習環境の整備		実 現 () ↑ 1 重 要 度	○出前講座の情報提供、講師 登録制度の充実・生涯学習 講座の開設など学習環境の 整備を図った。			
	学校教育		①学力の向上		実 現 度 ↑ → 重 要 度	○一人一人と向き合うきめ細かな指導ができ、基礎学力の向上が図られた。 ○学習習慣が身に付き、発言機会が増え、子どもが主体的に授業へ参加できた。 ○教室に余裕が生まれ、学習環境や学習形態を工夫できた。 ○提出物への的確で丁寧なコメントができ、学習意欲を高めることができた。			
育委員会が管理・			学級の 全学年	学級の 全学年	学級の 全学年	②生徒指導の差	充実	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○一人一人に目が行き届き、いじめや不登校、問題行動等に素早い対応ができた。○友達同士が理解し合い、自己表現力やコミュニケーション力を育んだ。
執行を教育長に委任				③信頼関係の溶	だまり	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○教師と子どもの関係が緊密化し、教育相談などを迅速かつ的確に行った。 ○子ども同士の信頼関係が深まり、学級にまとまりができた。 ○学級における一人一人の役割が充実し、所属感を高めることができた。		
する事務		(2)えびの 市学校	①ふるさと教 育・キャリ ア教育への 挑戦	ア. キャリア教育の推進 イ. 伝統芸能・伝統行事 の継承活動の推進 ウ. 国際理解教育の推進	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○キャリア教育として、市内中学3年生及び2年生の飯野高校での集合学習を実施している。○各学校において、地域の伝統芸能等の継承活動が行われている。○ALT2名での「英会話科」「英語表現科」の推進			
		教育五 つの挑 戦	②学力向上を 図る指導へ の挑戦	ア. 一貫教育の推進 イ. 基礎学力の充実 ウ. 教職員の資質向上の 充実 エ. 体験的な学習・問題 解決的な学習の推進 エ. 能力・適性を生かす 教育の充実 オ. 特別支援教育の充実	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○一貫教育の推進により市内 小中学校の学力の向上が図 られた。 ○市内小学校においても実力 テストや英検Jr・を実施し、 成果をあげてきた。			

	③心の教育への挑戦	ア. 読書教育の推進 イ. 体験学習・社会奉仕 活動の推進 ウ. 人権・同和教育の充 実 エ. 道徳教育の充実 オ. 生徒指導の充実	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○各中学校区で一貫教育の更なる推進を図るために体験 学習や社会奉仕活動を積極 的に取り入れた活動を推進 してきた。
	④体育・健康 教育への挑 戦	ア. 体育・健康教育の推進 イ. 薬物乱用防止の教育の推進 ウ. 食育教育の推進 ウ. 飲活動の推進 オ. 防災教育の推進 オ. 防災教育の推進 カ. 安全教育の充実 キ. 学校給食の充実 ク. 規範意識(基本的な生活習慣)の高揚	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○真幸中、真幸小、岡元小で県のモデル事業として「体力向上研究推進事業」を導入し、体育・体力向上を図った。 ○食育の推進として各学校の弁当の日を実施してきた。 ○薬物乱用防止教室等を、希望する学校で実施した。
	⑤特色ある学 校の創造へ の挑戦	ア. 特色ある教育の推進 イ. 学校支援地域本部 業を通した地域人材 活用の推進 ウ. 地域活動への支援 エ. 家庭教育への支援と 連携した活動 オ. 幼保・小・中・高連 携の推進 カ. 学校運営協議会の活 用	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○平成26年度から市内全域で 幼保小連携・接続推進事業 を行い、幼児が小学校教育 をスムーズにスタートでき るよう、また「小1プロブ レム」の対応を図った。 ○平成24年度から学校運営協 議会を設置し、学校運営へ の活用を図った。
(3)学校の記	(3) 学校の説明責任と教師の資質向上		実現度↑ ○ 本重要度	○学校運営協議会を活用し、地域への説明責任を果たすよう努めた。 ○各種研修を行ったほか、教育研究センターや各種がの 部会の積極的な活動を推進し、教職員の資質向上を図った。 ○えびの市スーパーティーチャー制度の実施により教しの指導力・授業力の向上が図られた。
(4) 学校施言	设・設備の整備充	5実	実現度↑ ○ ■ 要度	 ○真幸中学校及び岡元小学校屋内運動場屋根等改修工事実施 ○加久藤中学校プール改修工事実施 ○飯野小学校校舎外壁等改修工事実施 ○平成27年度実施予定の飯野中学校屋内運動場外壁等改修工事のための設計委託を行った。

	(1)生涯学のと教進	①生涯学習の 推進と内容 の充実	ア. 家庭教育の充実 イ. 青少年教育の充実 ウ. 成人教育の充実 エ. 高齢者教育の充実 オ. 出前講座の啓発推進	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○家庭教育学級を小中学校 8 校、保育園・幼稚園 5 園で 開設した。 ○若者チャレンジプロジェクト(マイカ)によるイベント実施を支援した。 ○子ども会育成会によるインリーダー研修を行った。 ○学校支援事業として、119 事業の活用があった。 ○生涯学習講座として、パソコン講座を実施した。 ○市民大学と市内 4 地区で女性ふれあい学級を開設した。
		②社会教育関係団体の活動の充実		実 現 (E) ↑ → 重 要 度	○社会教育関係団体への運営 補助を行い、自主的な活動 の推進・育成を図った。
社会教育		③人権・同和教育の推進		実 現 皮 ↑ → 重 要 度	○家庭教育学級での人権講座 や人権を考える市民のつど いを総務課と共催し、人 権・同和教育の推進を図っ た。 ○集会所事業として人権問題 等学習講座を開設し、人 権・同和教育の推進を図っ た。
	(2)生涯ス ポーツ の推進	①スポーツ活動	めの推進	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○スポーツ推進委員と連携して出前講座等によりニュースポーツの推進を図るとともに、グラウンドゴルフ等の用具貸出を行い、スポーツに親しみやすい環境を整備した。
		②体育施設の有	有効活用	実 現 度 ↑	○市内の各体育施設の修繕を実施するとともに弓道場の簡易トイレの設置等、利用しやすい環境づくりに努めた。 ○平成25年度に新築したえびの市相撲場を利用して、大相撲武蔵川部屋による合宿を誘致して市民が親方や力士と触れ合う機会を提供した。
		③各種団体の打	音導・育成	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○各団体と連携し、大会やスポーツ教室を実施し競技人口の拡大に努めた。 ○全国及び九州大会に出場する選手に対し補助を行い、競技力向上に努めた。

	(3)文化の 推進	①文化活動の 振興	ア. 文化振興の促進 イ. 文化団体の育成 ウ. 文化施設の活用	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○市民発表事業(芸能・音楽)・演劇公演・青少年芸術劇場小公演などを行った。○芸術文化協会、郷土芸能保存連合会等の育成を行った。○文化センターの改修(自動ドア、消防設備等)を行い、安全管理に努めた。
		②文化財の保 護と活用	ア. 埋蔵文化財の発掘調 査、保存と活用 イ. 歴史文化財保護 ウ. ふるさと教育の推進	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○年次計画により、重要文化 財指定の島内地下式横穴墓 群出土品の保存整備に努め た。 ○歴史・民俗の学習を行った。 ○県、市指定文化財をより良 く活用するための管理及び 周辺の整備に努めた。
		③資料館の充 実	ア. 歴史民俗資料館の活用 イ. 歴史民俗資料の保存ウ. 歴史民俗資料の調査研究及び公開エ. 歴史民俗資料館ボランティアの養成	実 現 度 ↑ → 重 要 度	○各種展示会(飯野城主島津 義弘の450年記念展、島内地 下式横穴墓群139号墓写真 展等)を開催した。 ○えびのの史跡を学ぶ講座、 古代体験等の資料館講座を 実施した。
図書館	市民参画による図書館運営の充実			実 現 度 ↑	○市民図書館における登録者数が11,749人、来館者数が34,583人、貸出図書数が74,509冊となっている。 ○幅広い年齢層の利用者を増やすための企画を実施するなどして、市民に親しまれる施設としての活動を積極的に行った。 ○読書推進活動を積極的に推進し、多様な生涯学習の場の確立を図った。
学校給食セン	(1)安全で美味しい学校給食の提供		実 現 度 ↑ → 重 要 度	○栄養教諭と学校栄養職員により栄養バランスのとれた 献立を起案し美味しい給食 を提供した。 ○米はえびの産を使用し、副 食は、県産・国産の食材を 多く取り入れた。 ○給食主任会議を年2回開催 し、各学校との連携を図り 献立内容の啓発に努めた。	
ンター	(2)えびの市食育推進計画に基づく食育の推進			実 現 度 ↑ → 重 要 度	○栄養教諭が各学校において 授業など、延べ55回の食に 関する指導を実施した。 ○「こんだて表」(月 1 回)、 「給食だより」(年 6 回)の 発行により家庭への食に対 する情報提供を行った。

総合評価

- 1 教育委員会の活動及び管理事務については、全ての分野について基本方針や施策を示し、実態把握・ 点検・指導助言援助を適切に行い、改善を図っている。
- 2 学校教育については、最重要課題である小・中・高及び小・中一貫教育の趣旨徹底を図るとともに、教育課程特例校指定による特色ある教育課程の編成に取り組んだ結果、徐々に総合的な学力向上が見られてきた。えびの市学校教育五つの挑戦については、意識の高揚などなお一層の推進が必要である。学校施設の整備については、施設一体型小中一貫教育校設置のために用地を買収し、校舎等実施設計を行うなど、平成29年度開校へ向けた準備を進めた。また、市内小中学校プール改修工事については、平成25年度から特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施することで、十分な財源確保と計画的な事業推進を図った。このほか、非構造部材の耐震対策を計画的に進め、全般的な老朽化施設の補修・修繕等を行い、児童生徒をはじめとする学校利用者の安全確保に努めた。
- 3 社会教育については、生涯学習推進のため出前講座・講師人材登録等の普及とともに、市民大学やパソコン講座を開設し、生涯学習の体制を強化した。また、家庭教育の充実を図るため、親育て講座・子育て支援講座・子育て講演会などの各種事業を実施した。文化振興においては、小中学校において芸術家を招聘しての鑑賞会を開催するとともに、コンサート及び市民が企画・運営する音楽会などを実施した。文化財保護については、国の重要文化財である「島内地下式横穴墓群出土品」をはじめとする貴重な文化財の保護に努めた。また、「島内地下式横穴墓群第 139 号墓」において良好な状態で発見された大量の副葬品を出土し保管した。資料館運営については、郷土の資料を公開するとともに、古代体験教室・資料館講演会などを行った。体育振興については、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等の関係団体の育成支援に努め、また、平成 25 年に新築した相撲場の活用事業として大相撲合宿を行い、市民が大相撲と触れ合う機会を提供した。各体育施設においては、修繕等を行い整備に努めるとともに、永山運動公園整備基本計画を策定した。

今後、さらに生涯学習の推進体制を図りつつ、心豊かな意欲ある人づくりのための各種事業に努めていく。

- 4 図書館運営については、平成26年度から新たな指定管理者による管理運営を行った。前年度までの指定管理者が実施していた事業のうち、市民目線に立った特色のある各種の講座や自主事業を継承しつつ、新たな企画を行った。利用者の要望を考慮しながら図書資料等を充実させ、より利用しやすい図書館の環境整備に努めた。
- 5 学校給食については、施設における安全管理と衛生管理の徹底を図り、毎月の献立を工夫すると共に 地元産米「ひのひかり」を年間通じて使用し、安全で美味しい栄養バランスのとれた学校給食の提供に 努めた。

また、地元の畜産物を活用した「元気!えびのっ子ふるさと給食」や好きな献立を自由に選べる「リクエスト献立」を実施し、各学校においては食に関する指導を行い「給食だより」等の発行により、児童生徒や保護者に対して食育の大切さや食への関心を高めた。

えびの市学校給食センター建設は、防災食育センターとしての機能を併せ持つ施設として建設できるよう事業推進を図った。

外部知見の活用

宮崎大学大学院 教育学研究科 准教授 押田貴久氏 の意見

1. 教育委員会の活動及び事務管理について

法令並びに平成26年度教育基本方針に基づき、概ね適切に事務執行されている。

なお、1-(2)「教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信」に関して、市 HP 等で 教育委員会の活動及び事務管理に関する情報を積極的に市民へ提供していくことで、さらに関心が高ま ると考える。

2. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

法令並びに平成26年度教育基本方針に基づき、概ね適切に事務執行されている。

学校教育については、えびの市学校教育五つの挑戦に基づき、一貫教育を推進し、徐々に総合的な学力向上が見られるなど一定の成果をあげている。平成 26 年度より小学校・中学校の全学年における 30 人学級が導入され、学習面・生活面での成果が見られる。今後も継続的な工夫改善とその効果検証が期待される。

社会教育については、生涯学習の推進体制を強化し、各種事業の充実、団体への支援が図られている。 また、生涯スポーツに関しても競技者・団体・総合型地域スポーツクラブへの支援を通じ、市民の健康 増進、体力づくり、技能向上に努めている。文化活動の振興および文化財の保護と活用についても様々 な取組がなされている。

指定管理者制度による市民図書館の運営管理に関しても利用者のニーズに応えつつ、より利用しやすい環境整備に努めている。

学校給食については、地元産米「ひのひかり」の年間使用をはじめ、安全で美味しい学校給食の提供 に向け、管理を徹底するとともに学校における食育の推進が図られている。

教育委員会による適正な事務の管理及び執行を通じ、えびの市の教育がよりいっそう充実することを 期待する。